



日本フィルハーモニー交響楽団 〈こんな活動をしています〉

2023年度活動報告

【Triptyque トリptyクエ第19号】

編集・発行 (公財)日本フィルハーモニー交響楽団 2024年7月  
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311 www.japanphil.or.jp office@japanphil.or.jp

# 日本フィルハーモニー交響楽団 こんな活動をしています (2023年度活動報告)



## JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団  
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311  
<https://www.japanphil.or.jp>

チケットご予約・お問い合わせ  
[日本フィル・サービスセンター]  
TEL.03-5378-5911 (平日10時~17時)  
eチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>



**ABS朝日** 「Welcome クラシック」日本フィルのミニ番組  
毎週水曜日 22:54~23:00 放送中!!

## 首席指揮者カーチュン・ウォン就任、新時代へ 音楽の奥深さ、豊かさを皆さまとともに

2023年度は首席指揮者のバトンが引き継がれる感慨深い年となりました。ピエタリ・インキネンからカーチュン・ウォンへと。

首席指揮者7年を含めたピエタリ・インキネンとの共演は2019年のヨーロッパ・ツアーをはさみ15年に及びました。シベリウス、ベートーヴェン、ワーグナー等を通じオーケストラの芸術的な素晴らしさを堪能させていただきました。

東京定期演奏会のフィナーレは満を持して、シベリウスの「クレルヴォ交響曲」。ルサネン姉弟とヘルシンキ大学男声合唱団・東京音楽大学の合唱団を招き、大曲を披露、絶賛を得ました。第400回名曲コンサートではベートーヴェン交響曲ツィクルスを第九で完結させ、有終の美を飾り、バイロイト音楽祭での楽劇4作からなるワーグナーの大作「ニーベルングの指環」の指揮へと旅立っていきました(公演は大成功と聞いています)。

カーチュン・ウォンの首席指揮者就任披露演奏会は10月、マーラー交響曲第3番で行われ、圧巻の演奏は聴衆を魅了し、マーラー国際指揮者コンクール優勝者の存在を見せつけました。と同時にこれまでの日本フィルの音楽基盤に新しい風が吹き込まれ、新時代のスタートを強く感じる瞬間となりました。

もう一つの新しい風はフレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一指揮の《道化師》(演奏会形式)を挙げなくてはなりません。これを皮切りにオペラの演奏機会の少ない日本フィルに定期的にオペラを演奏する機会をと、2025年には《仮面舞踏会》をセミステージ形式で上演いたします。

日本フィルの芸術性を追い求める方向は更に一段ギアアップを致します。と同時に社会からの数々の要請に応える社会性活動に

も力を注いでいます。「こども」「地域・リージョナル」「ダイバーシティ」「被災地に音楽を」と幅広い分野で活動を続け、社会的評価もあがってきています。

2022年に「被災地に音楽を」の活動(現在349回)が、後藤新平賞を受賞の栄に浴しましたが、2023年には「日本フィルの社会性活動」に対し3年にわたる助成『日本芸術文化振興会「新たなオーケストラ支援事業」(公益財団法人上廣倫理財団の寄付による事業)』をいただけることになりました。岩手県とは文化芸術振興・文化的地域づくりを目的とした連携協定を締結し、今夏には福島県とより大型化した、包括連携協定を締結予定です。避難所訪問から始まった活動が広域・多くの人々を巻き込んだ活動に発展し、日本フィルのアイデンティティーの一つとして確立されてきたように思います。

コロナ禍が遠い過去のようにも思えますが、楽団経営には大きな傷跡として残っています。減少した定期会員数がそれ以前の数までは回復しないこともその一因です。コロナ禍で、数か月ぶりに演奏会が再開した時、“演奏すること、音楽を皆様と一緒に楽しむこと”の喜び、感激をあれ程感じたことはありませんでした。大切にしなければなりません。生の演奏の素晴らしさをこれからも皆様にしっかりお届けしたいと思っております。どうぞこれからも日本フィルと一緒に歩んで、音楽芸術の奥の深い面白さを堪能していただけたらと思っています。

公益財団法人  
日本フィルハーモニー交響楽団

理事長 **平中俊邦**



### ◆ 芸術性の追求

2023年度の実施状況を振り返ると、コロナ禍にあったような様々な制約等を一切受けることなく、計画通りにすべて実施することができました。

ピエタリ・インキネンからカーチュン・ウォンへと首席指揮者が引き継がれ、今後日本フィルの音楽芸術にどのような変化をもたらしていくのか、多くのファンの期待がますます膨らむ一年となりました。近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価され、2023年度ミュージック・ペンクラブ音楽賞を受賞しました。

定期演奏会では、これまで継続的に共演している指揮者陣

### ◆ 社会性の拡充

日本フィルのもう一つの柱である社会性活動ですが、「被災地の音楽を」の活動が13年間で349回に達し、2023年度も陸前高田市や福島県南相馬市、また原発汚染避難指示の解除された双葉町などを訪れて、現地の皆さんとの熱い交流を通じて未来への希望と活力を届けてまいりました。

### ◆ 経営を振り返る

2023年度は、コロナの制約が解けて演奏会や社会性活動が多岐にわたったこともあり、事業経費が増大。一方で、コロナ禍を通じて大幅に減少した定期会員の回復が果たせず、また演奏料収入が増えなかったこともあり、基礎収支の赤字は、国の助成金やその他寄付金等を含めても埋めきれず大幅な赤字として残りました。指定正味財産の振り替えで赤字を補填したものの、最終損益は赤字決算を余儀なくされました。改めて楽団財政の抱える構造的課題を真正面から突きつけられる

を中心に演奏会を行いました。また、定期演奏会以外の自主公演においては、クラシックの普及を意識し、より幅広い層にお楽しみいただく公演づくりに努めました。そのほかの公演も、夏休みコンサートでは第3部の「みんなで歌おう」や交流イベントが復活。たくさんの親子に会場いただきました。また九州公演では、指揮者に下野竜也、ソリストに若手ヴァイオリニスト服部百音、ベテラン・ピアニストの小山実稚恵という豪華メンバーを揃え、地元の実行委員会との協働で、今年も九州の多くのファンを魅了し、好評を博しました。

ただ2023年度も桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフの来日が叶わなかったことは、大変残念なことでした。

また5月には、日本フィルと岩手県との間で、次世代を担う子供たちの支援などを目的に新たに連携協定を結びました。これからは県と一緒に、地元の芸術文化の振興や子供たちの夢の実現に向けて積極的に取り組むこととなります。

厳しい一年となりました。

安定した財務運営のために、まずは定期会員をさらに増やすこと、企業やホール等からの受託公演の獲得、企業等の協賛金や広告費の獲得など、ファンドレイジング活動を一層強化することが必須となります。

財政基盤の安定は、芸術性の向上とともに大きな柱と考えております。2026年6月の楽団創立70周年に向け、体制を整えてまいります。

### Data 2023年度活動回数一覧

	主催	受託(共催含む)	計
オーケストラ公演	82	50	132
室内楽公演(*「被災地に音楽を」)			192(*9)

### Data 2023年度配信回数一覧

	公演数
有料配信	23

### Data 2023年度経営報告

#### 1.貸借対照表

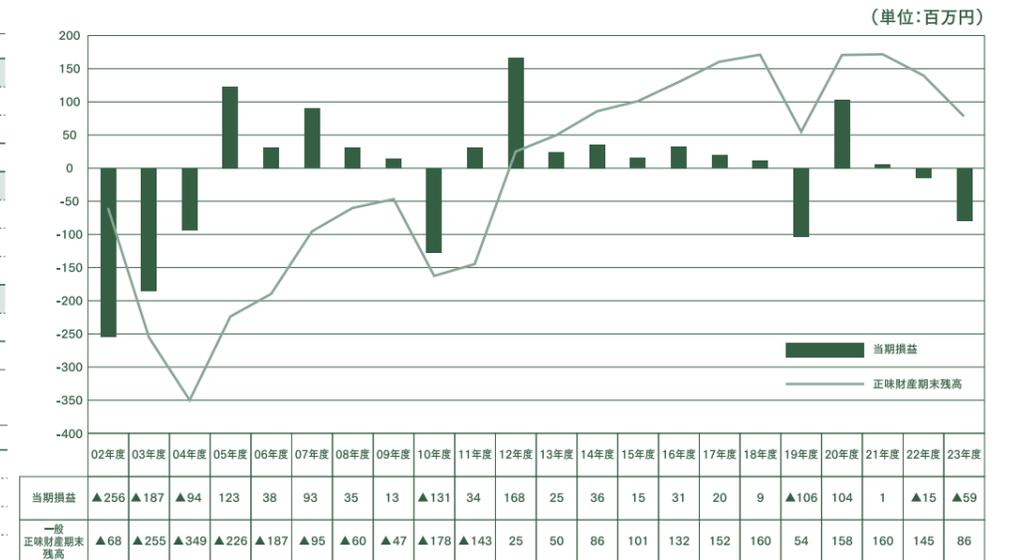
(2023年3月末現在、単位:千円)

科目	金額
<b>I.資産の部</b>	
1.流動資産	403,719
2.固定資産	377,407
資産合計	781,126
<b>II.負債の部</b>	
1.流動負債	190,128
2.固定負債	355,091
負債合計	545,219
<b>III.正味財産の部</b>	
正味財産合計	235,907
負債及び正味財産合計	781,126

#### 2.正味財産増減計算書

科目	金額
経常収益	1,459,444
経常費用	1,512,232
経常外増減等	▲6,548
当期正味資産増	▲59,336

#### 3.当期損益/一般正味財産期末残高



# オーケストラ・コンサートの実施状況

2023年5月の新型コロナウイルス5類移行をきっかけに、ようやく通常のコンサート運営にむけて光がさしてきました。未だ集客面等ではコロナ禍の影響は大きな影を落としています、様々な毀損からの回復を目指し、円安等の新たな制約を受けながらも海外招聘の門も再び開くことができました。

基本的には公演はほぼ計画通り実施することが叶い、芸術性の追究と自らの演奏力向上に努めることができました。

2023年度は、2016年から首席指揮者を務めているピエタリ・インキネンのラストイヤーと新首席指揮者に就任するカーチュン・ウォンの公演が続く、今後への期待が高まる一年となりました。

これまで、東京定期演奏会の土曜日、横浜定期演奏会のみで行っていたプレトークを東京定期演奏会の金曜日でもスタートさせたり、プログラムの内容を充実させるなど、より多くのお客様に楽しんでいただけるよう工夫を重ねています。



首席指揮者(～2023年8月末)  
ピエタリ・インキネン  
©山口敦



首席指揮者(2023年9月～)  
カーチュン・ウォン  
©Angie Kremer



桂冠指揮者兼芸術顧問  
アレクサンドル・ラザレフ  
©山口敦



桂冠名誉指揮者  
小林 研一郎



フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)  
広上 淳一  
©Masaaki Tomitori

## 定期演奏会

### ◆東京定期演奏会(サントリーホール、金曜日/土曜日2回公演)

首席指揮者ピエタリ・インキネンとの最後の東京定期演奏会は、かねてよりインキネンからの強い希望があったシベリウスの《クレルヴォ交響曲》をフィンランドの合唱団と日本の合唱団との混合チームでお届けしました。

新首席指揮者のカーチュン・ウォンとの就任披露演奏会は、マーラーの交響曲第3番を選び、2023年コンサートベストテンにもランクインするなど大反響を呼びました。今後もカーチュン×日本フィルの魅力を強く発信してま

います。

長年にわたり日本フィルの基柱である小林研一郎(桂冠名誉指揮者)は勿論のこと、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一やベテランの大植英次、海外でも活躍中の前正指揮者山田和樹、外国人ではドイツ人指揮者アレクサンダー・リープライヒといった内外の著名かつ優れた指揮者たちとの共演を通し、優れた芸術作品をバラエティ豊かにお届けいたしました。

No.	出演	プログラム
4月 749	指揮:ピエタリ・インキネン ソプラノ:ヨハンナ・ルサネン バス:ヴィッレ・ルサネン 合唱:ヘルシンキ大学男声合唱団、東京音楽大学	シベリウス:クレルヴォ交響曲
5月 750	指揮:カーチュン・ウォン チェロ:佐藤 晴真	ミャスコフスキー:交響曲第21番 芥川也寸志:チェロとオーケストラのための《コンチェルト・オスティナータ》 ヤナーチェク:シンフォニエッタ
6月 751	指揮:大植 英次 ピアノ:阪田 知樹	ワーグナー:楽劇《トリスタンとイゾルデ》より「前奏曲と愛の死」 プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第2番 チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》
7月 752	指揮:広上 淳一 独唱:笛田 博昭(カニオ)、竹多 倫子(ネッダ)、 上江 隼人(トニオ)、小堀 勇介(ペッペ)、 池内 響(シルヴィオ) 合唱:東京音楽大学 児童合唱:杉並児童合唱団	レオンカヴァッロ:オペラ《道化師》(演奏会形式)
9月 753	指揮:山田和樹	モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジーク バッハ(斎藤秀雄編曲):シャコンヌ ウォルトン:行進曲《宝玉と勺杖》 ウォルトン:交響曲第2番
10月 754	指揮:カーチュン・ウォン メゾソプラノ:山下 牧子 合唱:harmonia ensemble(女声合唱) 児童合唱:東京少年少女合唱隊	マーラー:交響曲第3番

11月 755	指揮:小林 研一郎 ソプラノ:澤江 衣里 テノール:高橋 淳 バリトン:萩原 潤 合唱:東京音楽大学	コダーイ:ガランタ舞曲 オルフ:世俗カンタータ《カルミナ・ブラーナ》
12月 756	指揮:カーチュン・ウォン マリンバ:池上 英樹	外山雄三:交響詩《まつら》 伊福部昭:オーケストラとマリンバのための《ラウダ・コンチェルト》 ショスタコーヴィチ:交響曲第5番
1月 757	指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:児玉 麻里、児玉 桃	チナリー・ウン:グランド・スパイラル プーランク:2台のピアノのための協奏曲 コリン・マクフィー:タブー・タブーアン ドビュッシー:3つの交響的素描《海》
3月 758	指揮:アレクサンダー・リープライヒ ヴァイオリン:辻 彩奈	三善晃:魁響の譜 シマノフスキ:ヴァイオリン協奏曲第1番 シューマン:交響曲第3番《ライン》

### ◆横浜定期演奏会

横浜定期演奏会は2023年5月、50年の節目を迎えました。その5月のピエタリ・インキネンの首席指揮者退任記念公演や、10月におけるカーチュン・ウォンの新首席指揮者になって初の横浜定期演奏会など、団にとってモニュメンタルな公演も無事成功裡に収めることができました。

また吉松隆「交響曲第6番(4月)」、小山清茂「管弦

楽のための《木挽歌》(11月)」、伊福部昭「《サロメ》より『7つのヴェールの踊り』(1月)」といった邦人作品の紹介にも努めました。また9月の公演では、久しぶりに「第九」以外の合唱作品(ブラームス「ドイツ・レクイエム」)を演奏することが叶い、従来の形が戻りつつある事を実感いたしました。

No.	出演	プログラム
4月 386	指揮:原田 慶太楼 チェロ:ジョヴァンニ・ソッリマ	ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 吉松隆:交響曲第6番《鳥と天使たち》
5月 387	指揮:ピエタリ・インキネン ソプラノ:森谷真理 アルト:池田香織 テノール:宮里直樹 バス:大西宇宙 合唱:東京音楽大学	シベリウス:交響詩《タピオラ》 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》
6月 388	指揮:小林 研一郎 ピアノ:小山 実稚恵	チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番 シューマン:交響曲第4番
7月 389	指揮:川瀬 賢太郎 ピアノ:菊池 洋子	モーツァルト:オペラ《フィガロの結婚》序曲 モーツァルト:ピアノ協奏曲第25番 ストラヴィンスキー:バレエ音楽《春の祭典》
9月 390	指揮:園田 隆一郎 ソプラノ:砂川 涼子 バス:平野 和 合唱:日本フィルハーモニー協会合唱団	ブラームス:ドイツ・レクイエム
10月 391	指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:亀井 聖矢	ショパン:ピアノ協奏曲第1番 ブラームス:交響曲第1番
11月 392	指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:福間 洸太郎	小山清茂:管弦楽のための木挽歌 プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第3番 チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》
12月 393	指揮:広上 淳一 ソプラノ:竹下 みず穂 アルト:但馬 由香 テノール:工藤 和真 バス:池内 響 合唱:東京音楽大学	ケルビーニ:歌劇《アナクレオン》序曲 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》
1月 394	指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:上原 彩子	伊福部昭::7つのヴェールの踊り(バレエ音楽《サロメ》より) ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 ヘルリオーズ:幻想交響曲
3月 395	指揮:小林 研一郎 ヴァイオリン:神尾 真由子	モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第5番《トルコ風》 サン＝サーンス:交響曲第3番《オルガン付き》



▲ラザレフの代役として東京定期演奏会デビューとなった大植英次



▲4年半ぶりの登場となったアレクサンダー・リープライヒ

## その他の演奏会

幅広い聴衆育成とクラシック音楽の普及を目指し、多彩な公演事業を行いました。

桂冠名誉指揮者小林研一郎との「コバケン・ワールド」を実施。第3回となった「コバケン・ワールド in KYOTO」と併せて、好評のうちに全4公演を実施いたしました。

「第九特別演奏会」も声楽にともなう制限が撤廃さ

れ、久しぶりに本来在るべき姿の形で演奏することができました。

他にも「名曲コンサート」、「芸劇シリーズ」、そして「特別演奏会」等での公演も、コロナ前のスタイルを取り戻し、プロフェッショナルのオーケストラとして担うべき大きな役割の一つである「クラシック音楽の普及」にもしっかりと取り組むことが出来ました。

## その他の主な共催事業

### ◆相模原定期演奏会

2023年度は、9月に小林研一郎とヴァイオリンの木嶋真優によるブルッフとベートーヴェンのドイツプロ、2024年1月には沼尻竜典とソプラノの砂川涼子によるオペラ・アリアとワルツを絡めたニューイヤーコンサート

という内容をお届けいたしました。

小田急線沿線の中では随一の規模・クオリティである「相模女子大学グリーンホール」の価値を改めて認識し、地元の文化振興に寄与できるよう、これまで以上にホールとの連携を努めてゆきたいです。

### ◆さいたま定期演奏会

奇数月および12月の第九演奏会という形で例年行われています。長期改修工事を経て、23年3月より元のソニックシティにて実施しています。

工事に伴い会場変更やコロナの影響を受けた今は、

最盛期に比べて集客面で苦慮していることは否めませんが、今後も埼玉ならではの視点に基づいたビギナーにもわかりやすいプログラム作りにも努めてまいります。メンバーズTVUチャンネルでの配信も積極的に行っており、神川町でのライブビューイングを今年度も行いました。

### ◆にじクラ〜トークと笑顔と、音楽と

サントリーホールとの共催による「とっておきアフタヌーン」が2023年よりブランド・リニューアル。俳優の高橋克典を司会に迎え、2時間プログラムと出演者のトー

クはそのままに、オルガンのコンサートをプレコンサートとして定着させる等、より幅広い方に音楽の楽しみを届ける企画が好評を博しました。

## Data 2023年度オーケストラ公演の内訳

主催公演	公演数	入場者数(約)
東京定期	20	25,700
横浜定期	10	13,200
名曲コンサート	4	6,500
芸劇シリーズ	4	4,900
夏休みコンサート	16	25,100
「第九」特別演奏会	6	9,500
九州公演	9	9,200
その他	9	9,200
コバケン・ワールド	4	6,200
計	82	109,500



▲声楽にともなう制限が撤廃され、久しぶりに本来在るべき姿の形で演奏することができた第九特別演奏会(12月22日 サントリーホール)



▲ジャンルを超えた「SUPER BRASS STARS」とのコラボレーション。観客を巻き込んだ記念撮影(3月10日 東京芸術劇場)

受託公演	公演数
一般公演(共催含む)	34
音楽教室/学校公演	16
計	50

## カーチュン・ウォン 首席指揮者就任 記者懇談会より

2023年10月13日、アークヒルズクラブにて

### 首席指揮者カーチュン・ウォン ごあいさつ

私は今、日本フィルの楽員たちとの仕事をとても楽しんでます。初日のリハーサルというのは、1番大変な1日で、必ず頭の中でこれとこれをやろうとチェックリストを作ります。ですが日本フィルの皆とリハーサルを始めると、すぐに、あ、1つ目はもう大丈夫。2つ目も素晴らしいからこのままでOK、と、驚くほど優秀だと感心してしまいます。本当に最近では良き音楽的なパートナーという信頼関係も感じられてきています。

私が育ったシンガポールは、平等、多様化、そしてインクルージョン\*、そういうことを大切にしている国です。5分も行けばモスク、カトリックの教会、ヒンドゥー教の寺院等があり、色々な宗教が混じっている場所でした。日本に来た時には日本の文化に大きなインスピレーションを受けました。その中でも伊福部昭の作品に携わることができ、そしてこれから伊福部のような作曲家の作品を、海外で演奏することができるようになったということも、とても嬉しく思っています。来年、私が首席客演指揮者を務めるドレスデン・フィルでシンフォニア・タプカーラを演奏することになりました。私はドレスデンの方たちと伊福部の楽譜を借りるのはどうか、日本フィルに電話してみてもどうか、と話しています。今までは西洋の最高のものを日本に取り入れていたのが、我々は今、最高の日本の文化を世界のクラシック業界の方々と分かち合えるのです。このような機会を私に与えてくださり本当にありがとうございます。

\*インクルージョン：個々の異なる属性が受け入れられ、互いに尊重されている状態

### 首席指揮者就任から今後の活動 益満 行裕(企画制作部長)

古典から現代に至るまで、カーチュン・ウォンの指揮は、印刷された音符を立体化させ作品の持つドラマや形式すらも明確に描き出し、「クラシック」の価値を博物館的に押し込めるのではなく、現代にも通じ得るものとして明示してくれます。我々にとって「最初のマーラー」となった第5番の演奏も、その意味でまさに衝撃的な門出でした。

今後は、2026年の創立70周年を念頭に、順次彼の音楽的ルーツであるマーラー、そこにブルックナーが加わります。

また、カーチュン・ウォンと日本フィルならではの視点と言える“Folksong”に着目したユニークなレパートリー、アジアの作品への取り組みは、より一層深みを増してまいります。

ウォン氏の探究心は並々ならぬものがあり、日本人である我々でも知らない作品が、次々と彼の口から出てくるのは、悔しいながらも圧巻です。マエストロは先日開示された東京音楽大学所蔵の作曲家伊福部昭の研究資料も早々に閲覧しに行ったそうです。指揮台の華やかさを裏支えるこういった研究熱心なところも尊敬に値します。

このようにカーチュン・ウォンと日本フィルは、これまでの偉大な先達たちと築き上げてきた路線を継承しつつも、新たな個性と音楽性を創造すべく今までにない音楽の場を提供してまいります。



# ピエタリ・インキネン2008年からの軌跡 ～ 初共演から2023年の首席指揮者退任まで～



1 2008年4月、初共演はシベリウス《エン・サガ》とチャイ4!



2 初共演の次はすぐに首席客演指揮者就任披露演奏会でした。同門の榎本大進氏と共演。そしてそのリハーサルには、ダニエル・バレンボイムの姿が……2009年9月



3 2010年から2015年は「マーラー撰集」!第2回は第3番。そして第3回(第5番)公演終了後のバックステージでコンサートマスターの扇谷泰朋と



4 出番前に身だしなみを整えて……



5 2013年は全3回の「シベリウス・ツィクルス」!リハーサルに向かうインキネン



6 2013年9月東京定期演奏会ではワーグナーの《ワルキューレ》より第1幕他を。パイロイトでも活躍する豪華な歌手陣に圧倒されました



7 2014年の九州公演に登場。ピアノの前に座ったり、ヴァイオリンを弾いたり……実は2013年9月に来日していた時に、福岡のガイドブックを片手に予習していました



8 2015年4月、2016年9月から首席指揮者に就任することを発表しました



9 正指揮者山田和樹(当時)と杉並公会堂で初対面!



10 松本記念会館にて撮影の間に茶道を体験



11 2015年11月には、J.S.バッハの2つのヴァイオリンのための協奏曲でヴァイオリンを披露



12 2016年9月、首席指揮者就任。サントリーホールブルーローズで懇談会



13 2017年4月5日は「ブラームス・ツィクルス」を。第1回の東京定期ではプレトークにも登場



14 2017年5月東京定期演奏会ではワーグナーの《ラインの黄金》全幕を!



15 2018年6月に首席指揮者延長を発表。同時に2019年4月のヨーロッパ公演も発表になりました



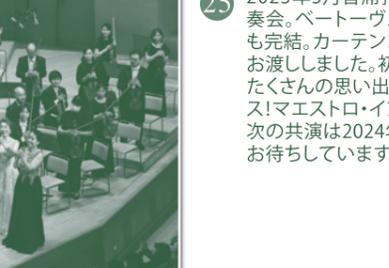
16 2018年6月東京定期演奏会終演後に、アフター懇談会を開催。たくさんのお客様に囲まれています



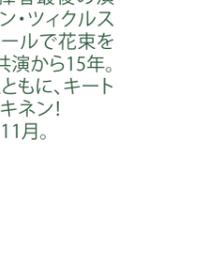
17 マエストロ・ラザレフが定期演奏会に!



18 2018年6月に首席指揮者延長を発表。同時に2019年4月のヨーロッパ公演も発表になりました



19 2019年6月にはフィンランド大使館で行われた「P.インキネン、P.クーシスト、日本フィルと共に日本・フィンランド外交関係樹立100周年を祝うレセプション」にお招きいただき参加。ソロ・コンサートマスターの木野雅之とペッカ・クーシストさんとのスリーショット



20 2019年4月は13年ぶりのヨーロッパ公演!フィンランドは初上陸。外交関係樹立100周年の記念公演となりました。それから、ウィーン、ドイツ、イギリスと全10か所をめぐる旅



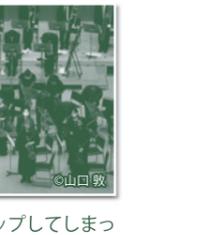
21 2021年11月、新型コロナウイルスの影響で来日できていなかったインキネンが、2年ぶりに登場!ソリストを務めた扇谷泰朋&コンサートマスターを務めた田野倉雅秋と



22 客席との間には広いスペースが必要でしたが、心はひとつに。



23 2022年4月、ストップしてしまっていたベートーヴェン・ツィクルスが再開!



24 首席指揮者最後の東京定期演奏会が何とマエストロのお誕生日。終演後のパーティでヘルシンキ大学男声合唱団から「クレルヴォ」Tシャツが贈られました



25 2023年5月首席指揮者最後の演奏会。ベートーヴェン・ツィクルスも完結。カーテンコールで花束をお渡ししました。初共演から15年。たくさんの思い出とともに、キートン!マエストロ・インキネン!次の共演は2024年11月。お待ちしております!



▲4/8ウィーン公演よりソリストのシェク・カネー=メイソンと  
▼4/2ヘルシンキ公演より



2019年6月にはフィンランド大使館で行われた「P.インキネン、P.クーシスト、日本フィルと共に日本・フィンランド外交関係樹立100周年を祝うレセプション」にお招きいただき参加。ソロ・コンサートマスターの木野雅之とペッカ・クーシストさんとのスリーショット

# 社会への取り組み

## ❖ エデュケーション・プログラムの実施状況

日本フィルの活動の特徴づける細やかで幅広いエデュケーション・プログラム。夏休みコンサートは、4年ぶりにコロナ禍の影響を受けず、子どもたちの元気な歌声に包まれ、イベントなども復活しました。ますます社会からの期待が高まっていることを実感いたしました。

### 【夏休みコンサート】

2023年度の日本フィル夏休みコンサートは、コロナ前の「フルスペック」での実施となり、無事、全公演を完遂、しかも全公演完売となりました。

今年もコンサートでは第2部をバレエとした回とピアノをメインに据えた回の2つの内容を作成し、「ピアノ」の回ではホールにピアニストの手元を映すスクリーンを設置する等新たな試みにも挑戦いたしました。

コロナ禍以前のスタイルを取り戻し、ロビーでのウェルカム・コンサートや終演後のサイン会、こんだん会といったイベントが4年ぶりに復活しました。音楽家との触れ合いがコンサートの印象をより深めることを改めて実感しました。また、8月5日のサントリーホール公演には、非公式ながら上皇皇后両陛下のご臨席を賜り、ステージと客席が一体となった特別な時間を共有いたしました。



©山口敦



©山口敦

### 【冬休みオーケストラ探検】

杉並公会堂との共催で開催している《エデュケーション・フェスティバルin杉並》は、2023年度で15回目を迎えました。例年は春に開催している本事業ですが、2023年度は杉並公会堂が2024年1月より大規模修繕に伴う全館休館となるため、「冬休みオーケストラ探検」として2023年12月に実施。「クリスマスパーティーへようこそ!」というテーマのもと、オーケストラ公演に多くの子どもたち、ご家族が来場くださいました。

これからも多くの子どもたち、ご家庭にクラシック音楽の楽しさ、奥深さを広げる場として充実したプログラムをお届けします。



©飯田耕治

### 【室内楽などによる取り組み】

● オーケストラ公演との連携企画  
「オケのテイキは、おもしろい」(ワークショップ)

● 自治体との連携  
杉並区小中学校出張コンサート、さいたまプライマリーコンサート

● 大学と連携した取り組み  
「女子美術大学ヒーリング表現領域への音楽ワークショップ」

● 野外イベント出演  
杉並区主催「杉並フェスタ」 木管五重奏

● 日越外交関係樹立50周年記念  
ベトナム室内楽公演



©山口敦

マイケル・スペンサーによる音楽ワークショップ



日越外交関係樹立50周年記念  
ベトナム室内楽公演



### 【その他の活動】

● 文化庁主催「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」

● 「杉並区音楽鑑賞教室」(小中学生対象) 舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)

### Data 2023年度エデュケーション・プログラム、その他の内訳

活動名	回数	会場	備考	その他	回数
夏休みコンサート(主催)	17	職場訪問	なし	ワークショップ	13
冬休みオーケストラ探検	1	60歳からの楽器教室	198	クリニック	8
学校・施設訪問コンサート	37	インターンシップ	19		
オーケストラたんけん隊	7	プレイベント	2		
公開リハーサル	4	プレトーク(オーケストラ・ガイド等)	32		

## ❖ リージョナル・アクティビティの実施状況

「温かさ、人に寄り添う」を特徴とした日本フィルならではのプログラムは、地域を音楽で豊かに活気あるものにし、さまざまな課題解決の一端を担ってまいりました。その需要はますます高まっていると感じます。これからも、社会の要請にこたえる活動をしてまいります。

### 【杉並区での活動】

杉並区・杉並公会堂・日本フィル3者の実行委員会で主催する杉並公会堂シリーズは、杉並公会堂改修閉館の影響で、例年の6回から2023年度は4回の縮小開催となりましたが、平日昼公演となった6月を含め全公演が完売致しました。

また杉並公会堂での夏休みコンサート、12月に開催した冬休みオーケストラ探検(日本フィル主催)も完売し、本拠地に相応しい成果を挙げる事ができました。

杉並区では、その他に区役所ロビーコンサート、杉並出張(室内楽)、公開リハーサルを実施、成人式(二十歳のつどい)や敬老会での演奏も行いました。西荻地域区民センターとの協働により実施している、60歳からの楽器教室も通年で開催しました。

### Data 杉並区との友好提携に基づく活動回数

活動名	回数
杉並公会堂シリーズ [杉並区との友好提携による公演]*	4
区役所ロビーコンサート	4
公開リハーサル	4
出張音楽教室	10
公募出張コンサート	4
区施設出張コンサート	11
小中学校音楽鑑賞教室(オーケストラ)	8
区内ホール等のリハーサル使用	53

\*夏休みコンサート含む

### Data その他杉並区での活動回数

活動名	回数
冬休みオーケストラ探検	1
杉並公会堂シリーズ [杉並公会堂(京王設備サービス)・日本フィル共催公演]	1
60歳からの楽器教室 [西荻地域区民センターとの共催]	198

## 【第49回九州公演】

1975年以来長年にわたり九州全県で継続されている九州公演。その大きな特徴は、すべての地域において市民による実行委員会がボランティアで日本フィルと協働し運営している点です。第49回となる今年度も引き続き文化庁「劇場・音楽堂機能強化推進事業(劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業)」に採択され、全7県9会場での公演を開催いたしました(2024年2月10日~21日)。

指揮者は九州公演は3度目となる鹿児島出身の下野竜也。中学生のころから日本フィルに親しみ、九州公演に理解と共感を寄せてくださっています。今回、すべての会場でプレトークを行い、「会場にいるかつての僕のような子どもたちに心を込めて演奏を届けたい」というメッセージは聴衆の皆様の胸に深く響きました。

ソリストには、多彩な音楽性とスケールの大きな演奏が聴く人を魅了するベテランの小山実稚恵(Pf)、若々しくパワフルな情熱でカリスマを感じさせる新鋭・服部百音(Vn)が登場し、迫力あるオーケストラの響きとともに連日熱演を繰り広げ、クラシック音楽の楽しさと喜びを九州各地に届けました。

今回、音楽と社会が断絶したコロナ禍の一定の収束をみて、各地での積極的な交流を再開しました。特筆すべきはコロナ禍に入団した若い楽団員の多くが、11月~12月の各地でのプレコンサートや、公演中の交流会に積極的に参加し、あらためて人々の心をしっかりと受け止め、繋いだことです。

九州の地でも少子高齢化や人口減少が進み、人々が等しく文化の感動を享受するのが難しい時代に入ったと実感します。しかし、日本フィルの原点である「人に寄りそう」「温かさ」を体現し、九州の皆様と心を分かち合った今回の経験を糧に、引き続き地方自治体や企業の支援を得るための努力を重ね、文化の灯をともし続ける決意をあらためて感じたツアーとなりました。



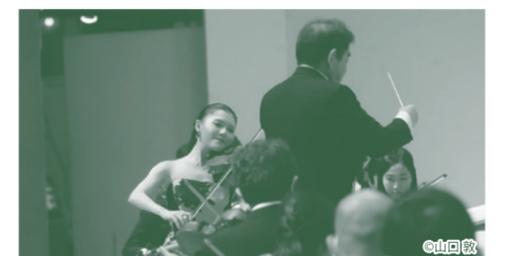
©山口敦

プレトークは鹿児島出身の下野竜也



©山口敦

小山 実稚恵(ピアノ)



©山口敦

服部 百音(ヴァイオリン)

## 【宇部公演】

「宇部興産グループチャリティコンサート」は、毎年恒例のUBE株式会社(旧宇部興産)の地域貢献活動として着実に定着し、16回目となりました。

今年も次世代音楽文化振興事業として「子どもたちの教育」に重点を置き、従来の宇部市に加え、隣接する山陽小野田市・美祢市の小中学生も公演に招待いたしました。

指揮に広上淳一、ヴァイオリンに荒井里桜を迎え、ベートーヴェンの《運命》を含む数々の名曲をお楽しみいただきました。また演奏は地元FM局により市内に生中継を行いました。

公演に付帯して実施している地域還元プログラムは、コロナ禍以前に戻し、病院への訪問コンサートをはじめ、宇部市内中学校へのクリニック指導もオンラインでのリモートレッスンとして延べ6回にわたり実施いたしました。

今後も音楽を通じた地域貢献活動として日本フィルの活動の柱がすべて発揮される本公演を、引き続き企業・自治体と一体となって積極的に展開してまいります。



10月8日 宇部市渡辺翁記念会館

## 【落合陽一×日本フィル プロジェクトVOL.7《帰納する音楽会》】

「テクノロジーによってオーケストラを再構築する」というテーマのもと、2018年から継続している本プロジェクトは、メディア・アーティスト落合陽一の演出によってオーケストラの新たな魅力と価値を広げるとともに、「耳だけで聞かない」ことをモットーに、聴覚と触覚や視覚などの分断を廃し、人間の五感の共感的な「身体性」を演出する数々の取り組みを重ねてまいりました。2023年公演から新たに「日本博2.0」の助成や企業協賛を得ることができました。

2023年度は「帰納する音楽会」をテーマに、本公演および新たなチャレンジとしてサテライト公演(高山、枚方、首里城、那覇)を実施。本公演の他、室内楽で全5公演を実施し、楽琉球古典音楽とのコラボレーションにより新たな視点での「日本のオーケストラの存在意義」を追求しました。

クラウドファンディングも引き続き実施、400万円を超える支援を頂きました。



《帰納する音楽会》8月23日 東京オペラシティコンサートホール

## 【音楽の楽しみを深め、広げる活動(「温かさ」+「新たな挑戦」)】

日本フィルの特徴である「温かさ、人に寄り添う」を活かした活動を、コロナ禍による休止から徐々に復活しました。音楽の持つ楽しみをより多くの方に広め、また、聴き手の皆様により深く音楽を楽しんでいただくよう工夫しました。

音楽を必要とする人々への取り組みとして行ってきた主催公演での託児サポート、夏休みコンサートの「こんだん会」、九州でのサイン会や楽員による「お見送り」、実行委員との交流会を再開。ハンディキャップを持つ方のための割引や若い世代への割引料金の設定、聴覚障害のある方へのボディソニック(体感音響システム)、演奏会場でのプレトーク等も継続しました。

コロナ禍で開始したメンバーズTVU(テレビマンユニオン)チャンネルでの有料映像配信は一定の定着を見せてきています。

横浜定期演奏会は2023年5月、50周年の節目を迎えました。この機に聴衆との結びつきをより強めるべく、演奏会のコンセプトに「横浜カルチュラル・ワンダーランド」を掲げ、歴史や文化、美術と結び付けながら、クラシック音楽の楽しみ方を発信、また、楽員による室内楽を主催して聴衆との接点を増やしました。ロビーでは横浜定期演奏会の歴史を振り返る展示も継続しました。

## 「被災地に音楽を」と「東北の夢プロジェクト」 (被災地におけるリージョナル・アクティビティ)

### ❖ 被災地に音楽を

東日本大震災から13年目となる2023年度は、「被災地に音楽を」の新たな取り組みとして福島県双葉町と岩手県陸前高田市を訪問したほか、これまで活動を続けてきた福島県南相馬市を訪問しました。

原発事故による避難指示の解除から1年余りが経過したものの、復興の進まない双葉町では、企業による「新たな町づくり」の機運も進んでいます。

日本フィルもこの復興支援活動を応援するべく、2023年度は浅野燃系株式会社が復興活動の拠点として建

設した工場・観光施設での地域向けのイベントに出演しました。

また、連携協定を結んだ岩手県とは、震災の甚大な被害を受け人口減少が続いている陸前高田市で今年の1月気仙中学校の中学生とともにイベントを行い盛況を博しました。県および陸前高田市の要請を受け、今後複数年にわたり同市を訪問し、地域の活性化を文化面から促進したいと考えております。

### ❖ 東北の夢プロジェクト

2019年から継続している「東北の夢プロジェクト」は、岩手県から新たに補助金を得て、久慈市の郷土芸能、滝沢市の合唱団を迎え、初めて実行委員会形式で盛岡市での公演を開催しました。

2回目となる福島県郡山市では、地元のFTVジュニアオーケストラと、沿岸部新地町の神楽を迎えて公演を行いました。

被災地におけるこれらの活動には、2023年度から2025年度まで採択を受けた日本芸術文化振興会「新たなオーケストラ支援事業」(公益財団法人上廣倫理財団の寄付による事業)の助成金を活用しています。

このほか、文化庁のオーケストラ・キャラバン事業の一環として宮城県石巻市、岩手県奥州市をオーケストラで初めて訪問し有料公演を開催しました。

### ■ 東北の夢プロジェクト



楽しいオーケストラin岩手2023



楽しいオーケストラin福島2023

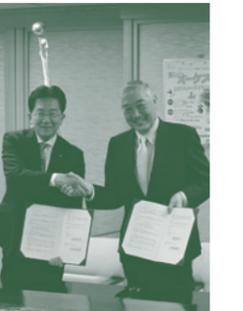
### ■ 被災地に音楽を



双葉町フラガールとの共演 2023年11月12日



「陸前高田市立気仙小学校での弦楽四重奏」



5月19日 岩手県調印式

# Playback プレイバック 2023年度



**PHOTO 1** 首席指揮者ピエタリ・インキネンの最後の東京定期演奏会。シベリウスの《クレルヴォ交響曲》をフィンランドからソリストと合唱団を、そして日本からも東京音大の男声合唱団を迎えて開催(4月)



**PHOTO 2** 「にじクラ〜トークと笑顔と、音楽と」第1回。とっておきアフタヌーンからリニューアルしての初回演奏会。司会是高橋克典さん。(5月)



**PHOTO 3** ピエタリ・インキネン、首席指揮者最後の演奏会終演後、フェアウェル・パーティでの一幕(5月)



**PHOTO 4** フレンド・オブJPO(芸術顧問)の広上淳一によるレオンカヴァッロ《道化師》を演奏会形式でお届けしました(7月)



**PHOTO 5** 夏休みコンサート2023は今年もスターダンサーズ・バレエ団によるバレエと上原彩子さんによるピアノの選べるプログラム。コロナ禍を経て、ようやく「みんなで歌おう」が復活しました。指揮の大井剛史さん、お話とうたの江原陽子さん(右)とともに(7月)



**PHOTO 6** 2019年から継続して行っている「東北の夢プロジェクト」。子どもたちの笑顔が輝く夏の夢舞台をお届けしました(8月)



**PHOTO 7** 落合陽一×日本フィル プロジェクトVOL.7《帰納する音楽会》で「マンボ」がはじける!(8月)



**PHOTO 8** 新シーズンスタートの東京定期演奏会は、恒例の山田和樹登場。首席ホルンの信末と首席オーボエ杉原との終演後のスリーショット(9月)



**PHOTO 9** 日本フィル協会合唱団創立50周年記念となった横浜定期演奏会。ブラームスのドイツ・レクイエムをお届けしました(9月)



**PHOTO 10** 新首席指揮者カーチュン・ウォン就任披露演奏会。渾身のマーラー交響曲第3番をお届けいたしました(10月)



**PHOTO 11** 桂冠名誉指揮者小林研一郎とのカルミナ・ブрана。迫力ある合唱、ソリストの素晴らしい独唱でお届けしました(11月)



**PHOTO 12** ようやく感染拡大防止対策に悩まず演奏できるようになった九州公演。九州男児下野竜也さん指揮のもと、服部百音さん、小山実稚恵さんとご一緒しました(2月)



## Japan Philharmonic Orchestra Recordings

「あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ」を活動の指針として、社会的活動を含む多くの事業を行っている日本フィルは、コロナ禍の2021年3月、音楽をお楽しみいただく機会を増やすため、新レーベル「JPO RECORDINGS」を設立しました。

JPO RECORDINGSは日本フィルのライブ録音より「JPO Historical」(配信)、「JPO Now」、「JPO Japan」の3つのコンセプトで、皆様に長くお聴きいただきたいライブ録音をリリースしています。アレクサンドル・ラザレフ、ピエタリ・インキネン、山田和樹(配信)、沖澤のどか(配信)、また「夏休みコンサート」「九州公演」に連動した商品を中心にお届けしています。

CD/DVDのほか、配信でも日本フィルの旬の演奏や、貴重な演奏記録の数々をお楽しみください。

最新情報はこちらから>>>

[https://japanphil.or.jp/goods/cd\\_dvd](https://japanphil.or.jp/goods/cd_dvd)



## Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com/>



メンバーズ TVU チャンネルは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。

日本フィルの配信は1,000円で視聴可能期間は何度でもご視聴いただけます。

日本フィルの配信一覧はこちら>>>

<https://japanphil.or.jp/news/24350>



### まずはID登録!

メールアドレスと  
パスワードのみで簡単!

- メールアドレスとパスワードを登録し、届いたメールからURLをクリックしたのち、ご希望の公演を選び、クレジットカード(VISA、MASTER、JCB、Diners Club、Discover)でお支払いください。
  - Internet Explorerは対応しておりません。Google Chrome、Microsoft Edge、Safari、Firefox等でご利用ください。
  - 視聴する際は、ログインし、該当公演またはマイプレイリストからご覧ください。
  - 配信当日は、配信の15分前から映像が切り替わる予定です。
- ※通信にかかる費用はお客様のご負担となります。Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。



あの名曲の、あの作曲家の、あの楽器の・・・知っていれば演奏会が10倍楽しくなるお話。見れば演奏会に行ってみたくなる、さまざまなオーケストラの楽しみ方を2分に凝縮!!

映画プロデューサーであり、日本フィルの評議員となりクラシックの沼にはまりつつある村上典史子の素朴な疑問に、クラシック音楽界、そして日本フィルを知り尽くす音楽評論家・奥田佳道がお答えします。親しみやすく、さまざまな切り口でクラシック音楽の扉を開きます。

- ①毎月10日・20日の19時 日本フィルのSNSで公開!
- ②ロングバージョン「2分わかる大人のためのオーケストラ入門Plus+」をYoutube公開
- ③これまでの「5分わかる!大人のためのオーケストラ入門」もそのままアーカイブ化

### メルマガ登録のススメ!

日本フィルからお届けするメルマガ「日本フィルNEWS」で最新情報をGET! 月に数回、発売日情報やホットなニュースをお届けします。時にはチケットプレゼントや優待のお知らせも! ぜひご登録ください。



## サポート

2023年度も、法人寄付、個人寄付共に多大なるご支援をいただき深く御礼申し上げます。

日本フィルは、通常、年間約150回のオーケストラ公演、年間55回を超える室内楽の学校・施設訪問、創作ワークショップ等のエデュケーション・プログラム、全国各地で長年継続する地方公演や杉並区を本拠地としての活動等、様々なコミュニティを活性化させる活動を継続的に展開しています。特定のスポンサーを持たない日本フィルがこれらの活動を継続・充実させるためには、経済基盤を安定させることが最重要課題と位置づけ、基礎収入の増収、基礎支出の削減に引き続き努めてまいりました。

これからもより充実した、そして社会の要請におこたえできるオーケストラを目指してまいります。引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。

### <個人ご支援>

個人の皆様からは「日本フィル・パトロネージュ(個人寄付会員)」「日本フィルハーモニー協会」「日本フィル・サポーターズクラブ」といった様々な会員制度によるご支援をいただきました。

### <企業・団体ご支援>

企業法人・団体の皆様からは「特別会員」「九州特別会員」(いずれも寄付会員)をはじめ、継続的なご寄付をいただくと共に、活動全般に対するご寄付もいただきました。また、演奏会等の事業では、東京定期演奏会をはじめとする主催演奏会への協賛(冠協賛、広告協賛)をいただきました。

#### 2023年度 協賛企業ご芳名

ウエルシアホールディングス株式会社/株式会社ウテナ/エレコム株式会社/合同会社オトナリ/鹿島建設株式会社/社会医療法人 河北医療財団 河北総合病院/株式会社京王設備サービス/京王電鉄株式会社/山九株式会社/株式会社ジントック/全国保証株式会社/大栄不動産株式会社/株式会社チャイルド社/千代田化工建設株式会社/株式会社日清製粉グループ本社/根本特殊化学株式会社/ハウス食品グループ本社株式会社/非破壊検査株式会社/丸美屋食品工業株式会社/三井不動産株式会社/三菱製紙株式会社/三菱UFJニコス株式会社/株式会社ミライト・ワン/武蔵商事株式会社/株式会社ヤクルト本社/ローム株式会社/WaRM Innovation株式会社

※ご寄付を賜りました企業ご芳名はp18-19に掲載致しました。

### <補助金・助成金・事業委託、共催>

2023年度も「文化庁文化芸術振興費補助金(文化芸術振興活動活性化事業)」対象団体として採択され、東京定期演奏会、横浜定期演奏会に補助金をいただきました。公的補助のほかにも各種助成団体からも多大な助成をいただきました。

2023年度公的助成総計 142,141,000円

2023年度民間助成総計 135,564,000円

<公的補助>独立行政法人日本芸術文化振興会「文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業)」、(文化芸術振興活動活性化事業)令和5年度日本博イノベーション型プロジェクト補助対象事業(独立行政法人日本芸術文化振興会/文化庁)

<公的助成>日本芸術文化振興会「新たなオーケストラ支援事業」(公益財団法人上廣倫理財団の寄付による事業)

<民間助成>公益財団法人朝日新聞文化財団/公益財団法人アフィニス文化財団/公益財団法人花王芸術・科学財団/公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団/公公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション/渡辺翁記念文化協会(50音順)

<事業委託>文化庁「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」

### <音楽音源事業並びに物品販売>

コンサート会場に来られない方々にも演奏を届けるために行っているCD等の録音物の制作と販売、普及事業を継続しました。オリジナルレーベル「JPO RECORDINGS」によるCD制作および配信事業は、夏休みコンサートおよび九州公演に向けてリリースいたしました。直近の演奏のCD化は来年度に持ち越しとなりました。

一方2022年度に制作した「ラザレフ:シヨスタコーヴィチ第10番」が第29回日本プロ音楽録音賞(Best Sound部門)を受賞するなど、レーベルの評価は定着しつつあります。

ライブ演奏の音源/映像の2次使用では、学校の鑑賞素材としての販売、カラオケボックスでの展開が継続するほか、「コスモプラネタリウム渋谷」への商業音源提供(2022年10月~)など新たな活用可能性が広がっています。

### ● 2023年度の制作アイテム

演奏会のライブ録音CD/配信「JPO RECORDINGSレーベル」計2点、「協会(非売品)」1点、オリジナルTシャツ、オリジナルカレンダー(全国カレンダー展入選)。配信77タイトル(2023年度新規3タイトル)。

2023年度グッズ・音源販売収入 26,017,077円

## ご寄付いただいた企業のみなさま

[ 東京特別会員、九州特別会員(一部個人含む)、活動へのご寄付他 ]

(50音順・敬称略)

株式会社IDホールディングス

株式会社アイレ

アイング株式会社

赤坂維新號

あすか製薬株式会社

株式会社アトックス

株式会社アドバンス都市開発

株式会社アドービジネスコンサルタント

株式会社会明新報社

イーソリューションズ株式会社

株式会社泉商会

株式会社泉放送制作

有限会社和泉屋

磯野不動産株式会社

稲員興産株式会社

稲畑産業株式会社

井上歯科医院

株式会社インフォーマト

株式会社内田洋行

内野株式会社

宇部エクシモ株式会社

株式会社AIT

ABCシステム株式会社

株式会社エイブル&パートナーズ

医療法人江上耳鼻咽喉科医院

有限会社江口栄商店

株式会社エヌエフホールディングス

NGB株式会社

エヌビーエス株式会社

株式会社エムジーケイ

株式会社エルイーテック

税理士法人エルビーエー

エレコム株式会社

医療法人社団桜珠会可也病院

株式会社大分銀行

大分県医療生活協同組合

株式会社大分放送

大口酒造株式会社

大隅ミート産業株式会社

株式会社大場造園

岡三証券株式会社

小川香料株式会社

小野塾

株式会社ONODERA GROUP

公益財団法人オリックス宮内財団

株式会社カカクコム

公益社団法人鹿児島共済会南風病院

株式会社鹿児島銀行

鹿島建設株式会社

鹿島建物総合管理株式会社

鹿島道路株式会社

株式会社カナック企画

株式会社カナデン

株式会社歌舞伎座

株式会社ガモウ

社会医療法人河北医療財団

川北電気工業株式会社

川谷医院

看公税理士法人

医療法人起生会林内科胃腸科病院

北野建設株式会社

キッコーマン株式会社

キャノン株式会社

キュービー株式会社

医療法人共生会びろうの樹脳神経外科

株式会社共同

株式会社協和日成

キリンホールディングス株式会社

株式会社きんでん

株式会社九曜社

グローブシップ株式会社

学校法人熊本壺湫塾学園

株式会社熊本日日新聞社

株式会社熊本放送

医療法人九曜会こが内科こどもクリニック

久留米第一法律事務所

京王重機整備株式会社

株式会社京王設備サービス

京王電鉄株式会社

社会医療法人敬和会大分岡病院

株式会社小泉

晃榮住宅株式会社

社会医療法人弘恵会ヨコクラ病院

株式会社興建社

コーザイ株式会社

甲宗八幡神社

株式会社講談社

生活協同組合コープかごしま

生活協同組合コープみやざき

株式会社小島新太郎商店

医療法人五秀会末永産婦人科麻酔科

医療法人こだま小児科

株式会社コバヤシ

コンパッソ税理士法人

株式会社コトブキ

株式会社コンサートサービス

株式会社佐賀銀行

薩摩酒造株式会社

佐藤製薬株式会社

三機工業株式会社

山九株式会社

医療法人三成会藤善整形外科

サントリーホールディングス株式会社

三洋貿易株式会社

サンワテクノス株式会社

医療法人CLSすがはら

ジーエルサイエンス株式会社

株式会社慈恵実業

宍倉渉税理士事務所

自然庵

澁谷工業株式会社

株式会社じほう

清水建設株式会社

シャボン玉石けん株式会社

株式会社集英社

株式会社シェルター

医療法人秀康会ましきクリニック耳鼻咽喉科

社会医療法人寿量会

社会医療法人春回会井上病院

浄土真宗本願寺派無量山西導寺

ショーボンドホールディングス株式会社

公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院

株式会社ジャックス

医療法人社団仁愛会中村医院

株式会社ジンテック

株式会社進藤木材店

医療法人信和会

杉山商事株式会社

住友ベークライト株式会社

株式会社スプリックス

医療法人誠和会河野レディースクリニック

株式会社セフティハウス

全国保証株式会社

税理士法人創研

株式会社総本家黒田家

第一倉庫株式会社

株式会社泰秀

大正製薬株式会社

大同生命保険株式会社

大日本除虫菊株式会社

大隆工業株式会社

大和製罐株式会社

高砂熱学工業株式会社

有限会社但馬屋老舗

立花税務会計事務所

千歳コーポレーション株式会社

千代田化工建設株式会社

株式会社千代田テクノル

塚本總業株式会社

霧知光

株式会社鶴屋百貨店

ディアンドデパートメント株式会社

DM三井製糖株式会社

学校法人帝京大学

株式会社T&Aマネジメント

THK株式会社

手島薬品株式会社

株式会社テレビ熊本

株式会社電通

東亜建設工業株式会社

株式会社東急コミュニティー

東京海上日動火災保険株式会社

株式会社東京交通会館

東京都杉並区

東京美装興業株式会社

医療法人藤溪会藤野医院

東洋熱工業株式会社

株式会社戸高コーポレーション

戸田建設株式会社

トヨタカラー鹿児島株式会社

株式会社トヨタレンタリース鹿児島

学校法人東京音楽大学

株式会社永田音響設計

株式会社永谷園ホールディングス

株式会社ナミキ

南洲税理士法人

日鉄興和不動産株式会社

株式会社ニフコ

日本精工株式会社

日本製鉄株式会社

日本電子株式会社

日本パーカライジング株式会社

株式会社ネイチャーズウェイ

根本特殊化学株式会社

パイオニア株式会社

ハウス食品グループ本社株式会社

株式会社博報堂

迫龍二

ハナマルキ株式会社

阪和興業株式会社

東日本住宅株式会社

東義秀

株式会社肥後銀行

株式会社美禪

非破壊検査株式会社

ひびき・パース・アドバイザーズ

税理士法人ひまわりFC

ひまわり音楽ホール

株式会社ファミリーユ

医療法人深川皮膚科

公益社団法人福岡医療団

株式会社福岡リムジンサービス

富国生命保険相互会社

富士テレコム株式会社

一般財団法人 藤本育英財団

古河産業株式会社

古川康

フンドーキン醤油株式会社

平和電業株式会社

株式会社別大興産

合同会社ベルファーマシー

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

保険ネットワーク有限会社

ホッカンホールディングス株式会社

株式会社ポニーキャニオン

ホンダカーズ佐賀株式会社

本田技研工業株式会社

本坊松栄株式会社

前田憲徳

株式会社牧野フライス製作所

マネックスグループ株式会社

株式会社丸井グループ

株式会社丸の内よろず

丸美屋食品工業株式会社

株式会社三井住友銀行

三井倉庫ホールディングス株式会社

三井不動産株式会社

株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ

株式会社三越伊勢丹ホールディングス

三菱HCキャピタル株式会社

三菱オートリース株式会社

三菱ガス化学株式会社

三菱地所株式会社

三菱自動車工業株式会社

三菱重工業株式会社

三菱倉庫株式会社

株式会社三菱UFJ銀行

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社

株式会社南日本放送

株式会社ミヤデン

医療法人産科・婦人科 宮原クリニック

医療法人浜江堂油山病院

武蔵商事株式会社

明治安田生命保険相互会社

社会福祉法人明澈会

医療法人明徳会佐藤第一病院

株式会社明和住販流通センター

メッドサポートシステムズ株式会社

株式会社メディアグラフィックス

株式会社メルコホールディングス

森社会保険労務士事務所

株式会社ヤクルト本社

八代綜合法律事務所

山崎製パン株式会社

UBE株式会社

ユウキフーズシステム株式会社

医療法人友和会

株式会社夢織

横河電機株式会社

医療法人よつば会今村小児科アレルギー科

米持建設株式会社

リガク・ホールディングス株式会社

株式会社リョーサン

株式会社Rings

株式会社リンレイ

社会福祉法人麗風会

税理士法人れいめい

ローム株式会社

社会福祉法人若楠

渡辺医院

他 匿名

# パトローネージュ [個人寄付] 会員ご芳名

(2024年6月15日現在・50音順・敬称略)

会田 雅美 東京都	内村 恒彦 神奈川県	菊池 和美 東京都	生島 貴司 千葉県	時枝 直満 東京都	広瀬 晴子 神奈川県	牧野 澄夫 東京都	村上 洋美 東京都	山口みどり 東京都	吉村 真幸 埼玉県
青山やすし 東京都	江口 麗子 東京都	喜多 崑久江 東京都	新庄真帆子 大阪府	徳田 陽一 東京都	廣田 直人 東京都	正木 信汎 東京都	村上 泰郎 東京都	山越 章弘 長野県	吉村 匡則 東京都
明田 重樹 東京都	大上二三雄 東京都	北村 篤嗣 埼玉県	晋友会合唱団 東京都	外山 雄三 東京都	深沢 茂実 神奈川県	増井 俊之 神奈川県	持田 泰 東京都	山田 敏之 神奈川県	若林 昭子 東京都
浅野 純次 埼玉県	大久保 昇 神奈川県	北村 裕 神奈川県	菅 千太郎 東京都	中尾 誠利 神奈川県	深見 敏正 東京都	増田 文彦 神奈川県	元永 徹司 神奈川県	山田 宏己 東京都	渡辺 和子 東京都
朝吹 英和 東京都	大島 晶子 埼玉県	木下 盛弘 東京都	杉本 功 東京都	ナガオカケンメイ 東京都	福井 英次 東京都	松尾 東京都	森 稔樹 神奈川県	山村 美絵 東京都	渡邊規久雄 東京都
厚田 理郎 東京都	大竹 広明 神奈川県	木村 恵司 神奈川県	杉山 秀子 東京都	中島 奈穂 東京都	福田 昭夫 東京都	松田 譲 東京都	森川 智之 神奈川県	山本 高稔 東京都	渡邊 直 東京都
阿部 俊彰 神奈川県	太田 五郎 神奈川県	桐本 明子 東京都	杉山 浩明 東京都	中島美知子 東京都	藤井 裕一 東京都	松村 美希 東京都	森田 大輔 神奈川県	山本 棟子 東京都	渡邊 裕志 山口県
荒井 昇 東京都	太田 達男 千葉県	草刈 隆郎 東京都	鈴木 祐二 東京都	長瀬 雅則 東京都	藤沢 薫 東京都	松本 信義 東京都	森田ハルヨ 東京都	油井 直次 東京都	Max Wong
新井 康允 神奈川県	大塚 宣夫 東京都	久野 哲男 千葉県	住野 公一 東京都	中園 和博 東京都	藤本由紀子 東京都	真野美千代 東京都	矢口 敏和 千葉県	横川 直 東京都	M.K
荒木 秀隆 東京都	大藤 裕康 埼玉県	熊谷 朝子 東京都	関 兼英 東京都	仲田 喜義 東京都	藤原 真也 東京都	三木恵美子 神奈川県	矢倉 俊紀 東京都	吉江 健志 千葉県	匿名64名
荒蒔康一郎 東京都	大森 京太 東京都	倉谷 宏樹 東京都	妹尾 絲子 東京都	永野 琢夫 東京都	星 桂太郎 東京都	三木 繁光 東京都	山口 典彦 東京都	吉川 美保 東京都	
有江 純子 神奈川県	岡本 晋 東京都	栗原真知子 埼玉県	仙石 通泰 東京都	中村 公一 東京都	細谷 義徳 千葉県	峯島 茂之 東京都	山口 幸子 東京都	吉田 知世 東京都	
安西祐一郎 東京都	岡田 尚子 埼玉県	畔柳 信雄 東京都	仙田 厚毅 千葉県	中村 禎良 東京都	前田 耿史 神奈川県	宮本 裕二 兵庫県	山口 仁栄 東京都	吉谷恵美子 神奈川県	
飯田 桂子 東京都	岡田 雅史 神奈川県	甲賀 一宏 埼玉県	宗 神子 大分県	那須 雄治 東京都	前田圭一郎 千葉県	村上 純子 神奈川県	山口 達之 長崎県	吉谷由美子 神奈川県	
飯田 憲 東京都	尾上 洋子 東京都	好士崎稔子 東京都	染野 郁郎 東京都	棗 年紀・綾 東京都					
家近 茂 東京都	小野寺けい子 岩手県	胡口 靖夫 東京都	空田 幸徳 東京都	新倉 啓介 東京都					
家近 信子 東京都	小野寺健一 岩手県	小林 和夫 東京都	高井 延幸 神奈川県	西澤 豊 東京都					
五十嵐重雄 東京都	小幡 尚孝 東京都	小林こずえ 東京都	高木 宏忠 東京都	西谷 公男 東京都					
池浦 慧 東京都	小原 道生 東京都	小林 裕美 東京都	高須 幸雄 東京都	西村 醇子 神奈川県					
池田 博 東京都	折田 昌子 東京都	小林 容子 東京都	高田 信子 東京都	日本フィルハーモニー 協会所沢支部 埼玉県					
池野 隆光 東京都	風間 沙織 神奈川県	駒見 俊彦 東京都	高橋 信喜 東京都						
池谷 光司 東京都	賀澤 裕三 福島県	五味 康昌 神奈川県	武岡 哲郎 東京都	二村 英之 東京都					
伊佐山建志 東京都	鹿島 英裕 東京都	齋藤 共子 神奈川県	竹中富知男 東京都	布村 清美 東京都					
石澤 卓志 千葉県	片貝 英重 東京都	酒井 伸 長野県	田中稀一郎 東京都	沼口 順子 東京都					
石塚 邦雄 東京都	片山 英二 東京都	酒巻 英俊 東京都	田仲 博幸 東京都	根本 直之 千葉県					
石津 寿恵 東京都	片山 茂 千葉県	定形 哲 神奈川県	田中 将介 神奈川県	野谷 文昭 東京都					
石橋 秀雄 神奈川県	桂 史子 東京都	佐藤 武男 東京都	田辺三基男 東京都	箱崎 一彦 千葉県					
伊藤 貴博 東京都	加藤 壹康 静岡県	佐藤 寛之 東京都	田村 一 山梨県	蓮見 正純 東京都					
伊藤 昌司 東京都	加藤 丈夫 東京都	佐藤 正昭 東京都	田村 浩章 東京都	濱田 尚人 東京都					
伊藤 好彦 東京都	加藤 頼宣 東京都	佐藤 正知 東京都	塚本 和久 東京都	原 俊 千葉県					
井上 俊信 埼玉県	金子 修 埼玉県	佐藤 順英 福島県	辻 雅夫 東京都	原 幸男 静岡県					
井上 直人 東京都	金子 清 千葉県	座間 淑美 神奈川県	薦井 厚伸 東京都	針谷 博史 東京都					
井上 浩良 東京都	金子 肇 千葉県	澤井 敏雄 東京都	津田 義久 東京都	日高 好男 東京都					
岩瀬 順子 神奈川県	上條 貞夫 東京都	島田 精一 東京都	常石 博之 東京都	平井 邦子 神奈川県					
岩田 達明 神奈川県	香山 和子 神奈川県	島田 晴雄 東京都	積田 孝一 東京都	平田 邦夫 神奈川県					
上野悦子・陽子 東京都	川合 孝一 千葉県	島田 英繁 神奈川県	一般社団法人	平田 正 神奈川県					
植村 昭三 東京都	河田 義宏 東京都	清水 幸雄 東京都	東京フロイデ合唱団 東京都	平林 直哉 東京都					
宇賀神裕子 神奈川県	川畑 雅義 東京都	下河辺美知子 神奈川県		広瀬 勝貞 大分県					
臼井 潤 東京都	菅野 治幸 神奈川県	下田 英一 東京都	東瀬 朗 新潟県						

# 日本フィルハーモニー協会 維持会員ご芳名

(2024年3月1日現在・50音順・敬称略)

青木 孝	加藤 明	佐藤 安雄	多田 栄一	早川征一郎	渡辺 勝次
青木 隆	金本 順子	澤口佳乃子	田中 諄	深沢 茂実	渡辺 政則
赤星 弥生	神谷 薫	清水 浩憲	坪井 憲治	藤井 行雄	
荒井 隆志	萱場 基	下山 泰彦	東保裕の介	藤川 寿彦	
有田 正治	岸田 正博	菅原 章文	富澤 裕	藤村 文二	
石田 尚身	北宮千恵子	鈴木 重澄	富田 節子	古川 武志	
石田 英雄	木村 繁	鈴木 重行	永井 福枝	古瀬 明弘	
伊藤 正明	倉田 茂	鈴木 富美	長沢 光子	本堂 毅	
岩崎 貞明	蔵貫 義朗	住江 慶子	永田 康	増田 文彦	
海野 尚久	斎木 典子	隅田 真	中山 泰子	松井 務	
大塚 宏二	坂本 博志	高津 正徳	野田 孝	皆川 文弘	
小田倉 正	相良 幸男	武井 新	野中 和行	三好 敦生	
柏崎 和枝	佐藤 雅道	武田 幸子	羽生 賢次	民放労連関東地方連合会	

◆ 創立指揮者	渡邊 暁雄	◆ 客員首席指揮者	ネーメ・ヤルヴィ
◆ 桂冠名誉指揮者	小林 研一郎	◆ 首席指揮者	カーチュン・ウォン
◆ 名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン	◆ 桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ
◆ 名誉指揮者	ジェームズ・ロッホラン	◆ フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)	広上 淳一

ソロ・コンサート マスター 扇谷 泰朋  Yoshihiro Takahashi	ソロ・コンサート マスター 木野 雅之  Masayuki Yamauchi	ソロ・コンサート マスター 田野倉 雅秋  Masaki Tanokura	アシスタント・コンサートマスター 千葉 清加  Kiyoka Chiba	
第1ヴァイオリン 伊藤 太郎  Taro Ito	第1ヴァイオリン 太田 麻衣  Asahi Ota	第1ヴァイオリン 九鬼 明子  Akiko Kikuchi	第1ヴァイオリン 齋藤 政和  Masahiro Saito	第1ヴァイオリン 榊 渚  Shizuka Sakaki
第1ヴァイオリン 竹歳 夏鈴  Natsuzu Takekuni	第1ヴァイオリン 谷崎 大起  Taiki Tanizaki	第1ヴァイオリン 田村 昭博  Shirohiko Tamura	第1ヴァイオリン 中谷 郁子  Ikuko Nakatani	第1ヴァイオリン 西村 優子  Yuki Nishimura
第1ヴァイオリン 平井 幸子  Sachiko Hirai	第1ヴァイオリン 本田 純一  Junichi Honda	第2ヴァイオリン 遠藤 直子  Naoko Endo	第2ヴァイオリン 大貫 聖子  Seiko Oikawa	第2ヴァイオリン 岡田 紗弓  Sayumi Okada

第2ヴァイオリン 加藤 祐一  Yuichi Kato	第2ヴァイオリン 神尾 あずさ  Azusa Kami	第2ヴァイオリン 川口 貴  Takashi Kawaguchi	第2ヴァイオリン 佐藤 駿一郎  Shunichiro Sato	第2ヴァイオリン 末廣 紗弓  Sayumi Suehiro
第2ヴァイオリン 豊田 早織  Hayami Toyoda	第2ヴァイオリン 町田 匡  Tadahiko Machida	第2ヴァイオリン 松川 葉月  Etsuki Matsukawa	第2ヴァイオリン 山田 千秋  Chitose Yamada	
客演首席 ヴィオラ 安達 真理  Makiko Ando	ヴィオラ 江藤 史織  Fumi Ewata	ヴィオラ 小俣 由佳  Yuka Kobayashi	ヴィオラ 小中澤 基道  Motochika Kochnazawa	ヴィオラ 児仁井 かおり  Kaori Enoi
ヴィオラ 高橋 智史  Tomohisa Takahashi	ヴィオラ 中川 裕美子  Yumiko Nakagawa	ヴィオラ 中溝 とも子  Tomoko Nakamuro	ヴィオラ 松澤 稚奈  Wakana Matsuzawa	ソロ・チェロ 門脇 大樹  Taiki Kadota
ソロ・チェロ 菊地 知也  Tomochika Kikuchi	チェロ 石崎 美雨  Mami Ishizaki	チェロ 伊堂寺 聡  Satoshi Itadaira	チェロ 江原 望  Nozomi Egawa	チェロ 大澤 哲弥  Tetsuyuki Ohsawa

<p>チェロ</p> <p>久保 公人</p>  <p>Kuroki</p>	<p>チェロ</p> <p>山田 智樹</p>  <p>山田智樹</p>	<p>コントラバス◎</p> <p>高山 智仁</p>  <p>Takayama</p>	<p>コントラバス</p> <p>鈴木 優介</p>  <p>鈴木優介</p>	<p>コントラバス</p> <p>成澤 美紀</p>  <p>Miki Narusawa</p>	<p>ホルン</p> <p>宇田 紀夫</p>  <p>Ueda</p>	<p>ホルン</p> <p>原川 翔太郎</p>  <p>Haragawa</p>	<p>ホルン</p> <p>村中 美菜</p>  <p>Minami</p>	<p>ソロ・トランペット</p> <p>オウクビア・ノ・クリスト・フォリ</p>  <p>Oukibia</p>	<p>トランペット◎</p> <p>大西 敏幸</p>  <p>Onishi</p>	
<p>コントラバス</p> <p>宮坂 典幸</p>  <p>宮坂典幸</p>	<p>コントラバス</p> <p>森田 麻友美</p>  <p>Mayumi</p>	<p>コントラバス</p> <p>山口 雅之</p>  <p>Masayuki</p>	<p>フルート◎</p> <p>真鍋 恵子</p>  <p>Eiko Makinobe</p>	<p>フルート</p> <p>齋藤 光晴</p>  <p>Mitsuharu Saito</p>	<p>トランペット</p> <p>犬飼 伸紀</p>  <p>Inukai</p>	<p>トランペット</p> <p>中里 州宏</p>  <p>Nakazumi</p>	<p>トランペット</p> <p>中務 朋子</p>  <p>Nakatsuru</p>	<p>トランペット</p> <p>星野 究</p>  <p>Hoshino</p>	<p>トロンボーン◎</p> <p>伊藤 雄太</p>  <p>Ito</p>	
<p>フルート</p> <p>難波 薫</p>  <p>難波薫</p>	<p>オーボエ◎</p> <p>杉原 由希子</p>  <p>杉原由希子</p>	<p>オーボエ○</p> <p>松岡 裕雅</p>  <p>Matsuoka</p>	<p>オーボエ</p> <p>佐竹 真登</p>  <p>佐竹真登</p>	<p>クラリネット◎</p> <p>伊藤 寛隆</p>  <p>伊藤寛隆</p>	<p>トロンボーン</p> <p>笠間 勇登</p>  <p>笠間勇登</p>	<p>バス・トロンボーン</p> <p>中根 幹太</p>  <p>中根幹太</p>	<p>チューバ</p> <p>柳生 和夫</p>  <p>柳生和夫</p>	<p>ティンパニ◎</p> <p>エリック・パケラ</p>  <p>エリックパケラ</p>	<p>ティンパニ</p> <p>池田 健太</p>  <p>池田健太</p>	
<p>クラリネット○</p> <p>楠木 慶</p>  <p>楠木慶</p>	<p>クラリネット</p> <p>照沼 夢輝</p>  <p>照沼夢輝</p>	<p>クラリネット</p> <p>堂面 宏起</p>  <p>堂面宏起</p>	<p>ファゴット◎</p> <p>田吉 佑久子</p>  <p>田吉佑久子</p>	<p>ファゴット○</p> <p>鈴木 一志</p>  <p>鈴木一志</p>	<p>パーカッション</p> <p>大河原 渉</p>  <p>大河原渉</p>	<p>ハープ</p> <p>松井 久子</p>  <p>松井久子</p>	<p>チーフステージマネージャー 阿部 紋子</p> <p>ステージスタッフ 長橋 健太 森田 大翔</p>			<p>ライブラリアン 鬼頭 さやか 杉本 哲也</p>
<p>ファゴット</p> <p>大内 秀介</p>  <p>大内秀介</p>	<p>ファゴット</p> <p>中川 日出鷹</p>  <p>中川日出鷹</p>	<p>客演首席 ホルン</p> <p>丸山 勉</p>  <p>丸山勉</p>	<p>ホルン◎</p> <p>信末 碩才</p>  <p>信末碩才</p>	<p>ホルン</p> <p>伊藤 舜</p>  <p>伊藤舜</p>	<p>理事 長 邦 夫 副理事 康 昌 専務 康 昌 常務 英 次 後藤 朋 俊 理事 啓 一 石 井 啓 一 佐 田 村 所 根 田 葉</p> <p>本 監 上 福 評 議 員 会 会 長 加 藤 文 夫 福 井 英 次 加 藤 文 夫 後藤 朋 俊 加 藤 文 夫 理事 啓 一 加 藤 文 夫 石 井 啓 一 加 藤 文 夫 佐 田 村 所 根 田 葉</p> <p>事務 長 康 昌 副事務 康 昌 専務 英 次 常務 朋 俊 理事 啓 一 石 井 啓 一 佐 田 村 所 根 田 葉</p> <p>事務 長 邦 夫 副事務 康 昌 専務 康 昌 常務 英 次 後藤 朋 俊 理事 啓 一 石 井 啓 一 佐 田 村 所 根 田 葉</p> <p>事務 長 邦 夫 副事務 康 昌 専務 康 昌 常務 英 次 後藤 朋 俊 理事 啓 一 石 井 啓 一 佐 田 村 所 根 田 葉</p> <p>事務 長 邦 夫 副事務 康 昌 専務 康 昌 常務 英 次 後藤 朋 俊 理事 啓 一 石 井 啓 一 佐 田 村 所 根 田 葉</p>					

◎首席奏者 ○副首席奏者

# 日本フィルの公益活動を応援してください

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものです。日本フィルも、その一翼を担う存在として、社会的役割をさらに充実させてまいります。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

## [ 個人の寄付で応援する ]

詳細はこちら▶



### パトローネージュ (個人寄付会員)

寄付 (1口・年額)

ポプラ 3万円	メイプル 5万円	マロニエ 12万円
エルム 20万円	リンデン 50万円	オーク 100万円

日本フィルの演奏活動、社会貢献活動にご賛同くださる皆様より、ご寄付を会費の形で頂戴する会員制度です。演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。

### 日本フィルハーモニー協会

寄付 (1口・年額)

一般会員 5千円	維持会員 2万円
他	

「日本フィル協会」は1973年の創設以来、「市民とともに歩むオーケストラ」日本フィルを物心両面で支え、地域で楽団員と協力して行うコンサート作りなどユニークな活動を行ってきました。会員と日本フィルをつなぐ会報『市民と音楽 (季刊)』と『おんきごう』がお手元に届くなど特典があります。

### オンライン寄付

<https://japanphil.or.jp/support/fundraising>

日本フィルの「被災地に音楽を」ほか、多彩な活動を支えていただくために、温かいご支援を心よりお願いいたします。クレジットカードで簡単にご寄付いただけます。

### 遺贈、相続財産のご寄付

自分が亡くなった後の財産や遺産を社会に役立てて欲しいといった尊いご意思に応えるため、日本フィルは遺言によるご寄付 (遺贈) や、故人から財産を相続された相続人の皆様からのご寄付を喜んでお受けして、オーケストラ活動を通じて社会活動に活かしてまいります。

#### 個人の寄付は税額控除が受けられます!

- 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団への寄付金は、税制上、税額控除の優遇措置が受けられます。
- 東京都・杉並区にお住まいの方は個人住民税の寄付金による控除の対象となります。
- 相続により取得した財産の一部または全額を寄付した場合、寄付した財産に相続税が課税されません。

\*詳しくは国税庁のサイトをご覧ください。

## [ 法人寄付で応援する (特別会員制度) ]

<https://japanphil.or.jp/support/special>

日本フィルの演奏活動や子どもを対象とした教育活動、地域の皆様との音楽を通じた地域貢献活動等にご共感下さる企業・法人の皆様には【特別会員制度】をご案内し、1口36万円のご寄付をお願いしております。幅広い皆様のお力添えにより、芸術性事業・社会性事業の一層の充実を図りたいと願っております。特別会員の皆様には日本フィル定期演奏会のご案内や当団ホームページやプログラム冊子へのご芳名掲載などをご用意しております。

※公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団への寄付金は、内閣総理大臣より寄付金控除の対象となる証明を受けております。寄付金のご協力をいただきますと、所定の算式に基づき寄付金が当該事業年度の損金に算入されます。

## [ コンサートを聴いて応援する ]

### サポーターズクラブ 年会費 1口 1万円

<https://www.facebook.com,JPOsupportersClub>

音楽に関心をもつ皆様に「日本フィルのサポーター」として、日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。招待券 (年間2枚) のプレゼント、日本フィル主催公演チケット優先申込・ご優待 (1割引)、会報誌・イベントのご案内などの特典満載。さらにお友達を10人ご紹介いただくと、定期会員券 (半期) を進呈いたします。

※ホームページからクレジットカードで直接申込みいただけます。

### 東京/横浜 定期会員

月に1度のサントリーホール、横浜みなとみらいホールで聴く贅沢な時間。S席年間会員 (全10回) の場合、1公演あたり5,400円に! 1回券10回購入と比べると最大42%お得です。

東京/横浜  
定期会員  
特典

- 特典① 専用指定席: 会場にお客様の専用指定席ができます。
- 特典② 優先確保: 次期シーズンのお席を優先的に確保します。
- 特典③ チケット振替可能: 東京定期/横浜定期間でチケットの振替が可能です。ご都合によりご来場できない場合、東京/横浜定期演奏会を同月内 (東京定期11月をのぞく) の東京/横浜定期演奏会にお振替いただけます。
- 特典④ 優先申込: 日本フィル主催公演を一般発売の1週間前からお申込みいただけます。
- 特典⑤ 1割引: 日本フィル主催公演を1割引でお求めいただけます。(一部公演を除く)
- 特典⑥ ホテル割引: 開演前・終演後はお近くのホテル (東京定期: ANAインターコンチネンタルホテル/横浜定期: 横浜ベイホテル東急) にてくつろぎの時間をお過ごしください。

## [ グッズを買って応援する ]

### Tシャツ/CD/コラボグッズなど

<https://japanphil.or.jp/goods>

オリジナルTシャツやCD、そのほかコラボグッズなどを販売しています。グッズの収益は日本フィルの演奏活動に役立てています。

詳細はこちら▶



## [ クラウドファンディングで応援する ]

### 落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクトVol.8

<https://readyfor.jp/projects/vol8>

2018年4月のVol.1公演より継続的に、「コンサートの聴き手、支え手、共鳴の輪を広げる」取り組みとしてクラウドファンディングに挑戦してきました。

2024年も、Vol.8公演のための資金調達とファン拡大のためにご支援を呼びかけます。ご支援を通して、日本フィルの新機軸を拓くプロジェクトの仲間になっていただけますと幸いです。

プロジェクト  
ページ

ご支援の  
ページはこちら▶



期間: 2024年6月~8月27日